

2010.3月号

平成22年3月10日発行

発行元 NPO法人陽だまり
発行元住所 〒739-0043
東広島市西条西本町27-37 高貴ビル201
電話 082-422-4115

主な記事

今年度を振り返って
移動サービス・移動の自由
代表「品格」について
事務局だより

陽だまりが、子どもの居場所づくりを夢見て3年… 今年度は夢の実現に向けて一步を踏み出しました。

子どもの居場所づくり

東広島市の「市民協働のまちづくりモデル事業補助金」で実施した「陽だまり発！子どもの居場所づくり」。夏休みは計6日間実施しました。保護者にアンケートを取ったところ、94%が「大変よかった」と回答し、「よかった」を含めると100%の保護者から高い評価が得られました。自由記載欄でも、「すごく楽しかった」「子どもが大喜びで帰ってきた」「来年もぜひ参加したい」などの記述が多く、陽だまりへの期待を感じました。今年度は春休みにも3日間実施します。今回は、午前中は勉強、午後は工作やおやつ作りをします。学生ボランティアの応募も順調で、また楽しいひと時を子どもたちと過ごせそうです。

はじめての視察

しかし、場所と資金がなければ1年を通して「居場所」を持つことはできません。そこで、今年度は初めて県外へ視察に行き、先駆的な取り組みを行っているNPOからたくさんのお話を学びました。尋ねたNPOは3団体ですが、その中で

もっとも強い印象を受けたのが、神奈川県藤沢市の「NPO法人ぐるーぶ藤」です。ぐるーぶ藤は、「普通の主婦」が建てた日本初の福祉マンションで、毎日介護賞奨励賞に選ばれてから一躍全国の注目を集めました。そのコンセプトは、「子育て支援から母子家庭、父子家庭、障害



者や高齢者など人の手助けが必要な方たちが助け合って暮らしていける住まい」「必要となるサービスが揃っていてさまざまな相談もできる駆け込み寺のようなところ」「地域に開かれていていつもいろんな人たちが集い合い、さまざまな世代が交流し合って住めるような複合型の住まい」です。4階建ての建物に、有料老人ホーム、精神障害者のグループホーム、高齢者の通所・短期宿泊サービス、レストラン、幼稚園などが入っています。



夢に向かって

私たちは陽だまりを立ち上げる時に、「子どもから高齢者までだれもが安心して暮らせる街づくり」を理念として掲げました。誰もが安心して暮らせる街とはすなわち、誰にとっても住みやすい街です。では、どんな街が住みやすいのか。私たちは、この東広島で育った子ども達が、成長して独立した後も「ここで生活をしたい」「ここで子育てをしたい」と戻ってくるような魅力ある街のことだと考えました。若い世代がいてこそ街は活力にあふれ、高齢者サービスも充実させることができます。

そんな訳で、子育て支援に取り組み始めた陽だまりですが、いずれは子どもの居場所を核に、いろんな世代が集い合い、助け合える場をつくっていきたくて夢見ています。



移動サービス・移動の自由

現在、約 70 名の方が移動サービスの利用者として陽だまりに登録しています。外出の主な目的は圧倒的に通院、次いで買い物です。お墓参りやウィンドーショッピングに出かける方もいます。また、施設入所の方は余暇を楽しむために利用されています。陽だまりは、運転者の資質向上を図るために定期的に研修を行っていますが、移動制約者の交通のあり方についても考え、取り組んでいます。

福祉有償運送運転者講習会

この講習会は、移動サービス（福祉有償運送事業）の運転者を養成するもので、国土交通大臣が定めたカリキュラムに基づいて行われます。今年度は、9月20日、21日に県立リハビリテーションセンター内スポーツ交流センターを会場に実施しました。



受講者は、外部からの参加を含め14名でした。この講習で、陽だまりの運転手が新たに4名誕生しました。

なお、平成22年度は西日本高速道路エリア・パートナーズ倶楽部様からご寄付をいただき、6月に開催する予定です。

安全運転講習会

平成22年2月7日（日）、陽だまりの運転会員を対象とした安全運転講習会を行いました。講師は理学療法士の中島恵氏。今回は知

的障害・発達障害がある人とのコミュニケーションについて学びました。知的障害の人にとっての難しさとは、私たちが英語を聞く時と同じようなもの。ゆっくり、はっきり、繰り返し、場合によっては書いたり、身振り手振りが有効だとのこと。逆に、発達障害のある人は、言葉の理解はできるが、言葉と周囲の状況を結びつけて適切な判断をし、行動することが難しいとお話でした。したがって、禁止ではなくどうするかを伝える、本人の言葉を少し広げて話す、本人の気持ちが自分に向いた時に話す、などを工夫すると、コミュニケーションが取りやすくなるそうです。どのお話も今後のサービスに大いに参考となるもので、大変有意義な講習会となりました。講義の後は、介助方法の実技も行いました。



運営協議会に向けて

今年度2回目の運営協議会が3月12日に開催され、陽だまりは上半期の実績を報告する予定です。運営協議会とは、本来地域の福祉交通のあり方を協議する場であるべきですが、実際は福祉有償運送事業を行う団体の運営状況をチェックすることに終始しています。東広島市の運営協議会は、私たち事業を行っている団体を委員として認めていません。一方でタクシーやバス会社は委員となっているため、非営利事業であるにも関わ

らず、営利事業との比較で福祉有償運送が協議されてきました。過日、陽だまり代表・副代表が事務局である東広島市に

運営協議会の構成員への参入についてお願いしました。よい返事を待ちたいと思います。

国レベルでは、「交通基本法案」が検討されています。この法案は、「交通は国民の諸活動の基礎」と位置づけ、「必要な移動を保障される権利」と「移動の自由」を謳っています。「利用者主体」と言われるこの法案に期待したいと思います。

「品格」について

代表 廣瀬 長子

今「品格」という言葉が取りざたされている。国語辞典でその意味を引いてみると「品位、気品」と載っている。短い言葉ではあるがそれはとても奥行きが深く、一口でその意味を説明することは難しい。

相撲界では元横綱が品格を問われ続けて引退した。一方、永田町では大物政治家たちの「政治とカネ」問題などで彼らの政治責任が問われている。元外国人横綱の「品格の欠如」を云々する以前に、国民から選ばれた政治家たちの品格の欠如がまず問われるべきではないだろうか。いい大人がしかも公人があのように平気で「嘘をついたり」「ごまかしたり」「人のせいにしたり」することは、政治家であるまえに一人の人として本当に恥ずべきことではないか、と私は思う。

「品格」は一朝一夕に備わるものではない。社会生活を営む中で自分自身を厳しく律し、謙虚な心を忘れないように心掛けていくことだと思う。相手の心を思いやり、時には相手の立場に立って物事を考えなければならない

こともあろう。私たちは血も感情も通っている生身である。だから、ごう慢になったり、人を妬んだり、思い上がったりする時もあるだろう。しかしそのような時それに気付き反省する心を持つことが大切ではないか、と思う。

子どもたちは今、平気で嘘をつき、それを都合のいいように言い訳をしている大人たちを、どのように思い、どのように見つめているだろうか。かけがえのない子どもたちが胸をはって生き、そして夢が持てる社会にするために私たち大人は今何をしたらよいか、きちんと考える時であると思う。

年を重ねるにつれ、私は無責任なことを言ったり、してはいけないという思いが強くなってきている。子どもの頃、親が口を酸っぱくして「人様の物を盗ってはいけない」「嘘をついてはいけない」「人を痛めてはいけない」と言っていたのを思い出す。その言葉の持つ意味をかみしめながら、あの当時の親の心情がよく理解できる年になった。

会員の広場

春到来 つくし歓喜し 背を伸ばす

近松 幸江

山積みに 仕事あっても まず花見

年金で 息切れもせず 老一人

恵まれて 楽しく登る 八十路坂

米田 ゆき

雲海に みとれて我に かえりけり

朝起きて 入道雲は 親父なり

つれづれに 流れる雲の 白さかな

稲田 貴美香

車いす 木の葉舞い散る 散歩道

介護職 触れ合い楽し 知恵袋

雪とけて お日様を背に 野良仕事

幸子

事務局だより

訪問介護

新しく 3 名のヘルパーが陽だまりに仲間入りしました。みなさまのお宅に伺いましたら、よろしくお願いたします。

こんにちは。田原史子です。昨年 8 月にヘルパーの資格を取得し、10 月より陽だまりでヘルパーとして活動させていただいています。未熟者で壁にぶつかる事もありますが、スタッフの皆さんに相談しながら何とか乗り切っています。信頼関係を作ることの難しさを感じつつ、「ありがとう」と言われることが次へのエネルギーになると実感しています。これからもよろしくお願いたします。

こんにちは。松井紗智子です。今年の 1 月末にヘルパーの資格を取得し、2 月から陽だまりでヘルパーとして活動させていただいています。まだまだわからない事ばかりで、これからお会いする利用者様にご迷惑をおかけすると思いますが、あたたかい目で見ていただけたら…と思います。利用者様が安心して利用して頂けるサービスを心がけ、日々勉強でがんばって参ります。よろしくお願いたします！！

高橋みえ子です。高屋の造賀で主人と二人で生活しています。陽だまりの皆さんや利用者様と接することで、生きる意欲が湧いています。いい出会いに感謝しています。これからもよろしくお願いたします。

11 月の調理実習（社内研修）

今回の研修では、玉子 1 個で何品作れるかをテーマに、班に分かれて腕と知恵を競い合いました。ルールは、どの品にも玉子を入れることと 5 人分を作ること。配られた玉子は班に 1 個のみ。厳しい条件ですが、どの班も工夫を凝らして作り上げました。出来上がったものをお互いに試食し、作

り方の情報交換をして、この日の研修を終えました。



居宅介護支援（ケアマネジャー）

事務局スタッフ 2 名がケアマネジャーの試験に合格し、春から実務に携わることになりました。有料サービスのコーディネーター、ヘルパーとの兼務になりますが、よろしくお願いたします。

- 新しくケアマネジャーとして活動予定の岡本浩子です。現在、研修中のド新人ですが、利用者様に信頼して頂けるよう努めていきますので、よろしくお願いたします。
- 今年からケアマネジャーを兼務することになりました石井弥生です。今まで通り、「明るく・楽しく・寄り添って」をモットーにがんばります！！温かく見守ってくださいね。

寄付・助成金

西日本高速道路エリア・パートナーズ倶楽部様からご寄付を、共同募金会から配分金をいただきました。どちらも次年度の移動サービス事業に使わせていただきます。ありがとうございました。

会員更新のお知らせ

今年度の会員登録が 3 月末で終了します。お送りしました案内をご覧いただき、4 月以降も引き続き会員登録を希望される方は手続きをお願いたします。年会費は今年度同様、2000 円です。ご不明な点がございましたら、遠慮なく事務所までお問い合わせください。